

甲賀市新庁舎建設工事 工事かわら版

8月



甲賀市の皆さま

昨年の8月より工事をスタートして12ヶ月が経過しました。現在、床躯体工事を順調に進んでいます。地上鉄骨工事が完了し、鉄骨フレームで建物形状が確認できるようになりました。今月は、地上鉄骨建方で使用したクローラークレーンについてお知らせします。今後とも、工事期間中は皆さまにご迷惑をおかけしますが、安全環境に配慮しながら工事を進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

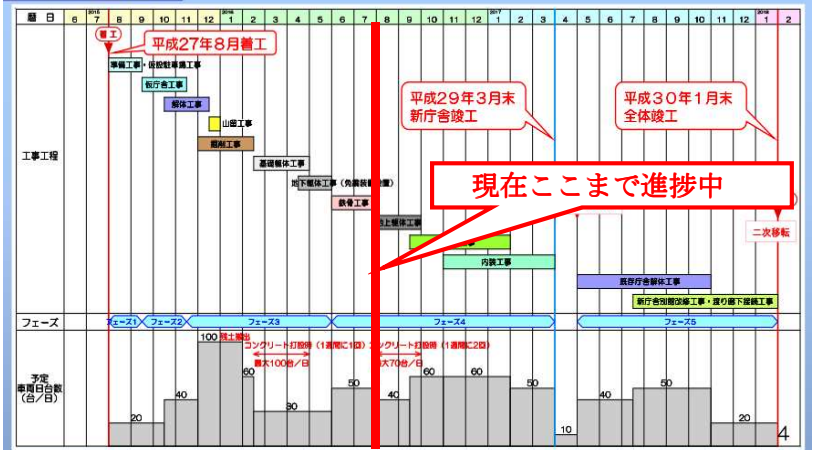
東急・三陽特定建設工事共同企業体 所員一同

今後の予定

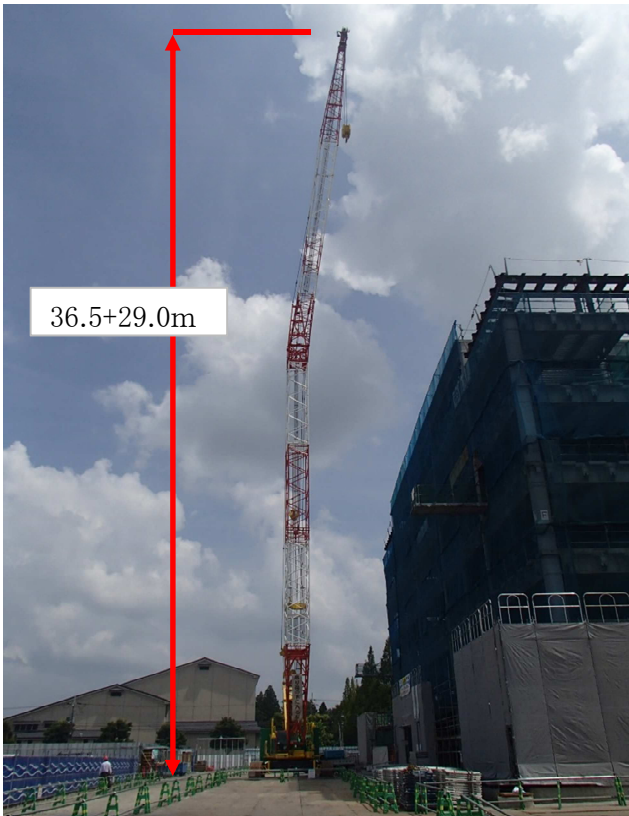
- 8月 各階床躯体工事
※鉄骨の骨組に鉄筋コンクリートの床や屋根を作っていきます。
13日～17日 作業所全体
- 9月 各階躯体工事・外装工事
(外装工事) ※建物外周の外装パネル、壁や窓を取り付けます。この頃には建物全体が外部足場で囲われます。
- 10月 外装工事・内装工事
(内装工事) ※建物内の間仕切りや天井・内装仕上げの工事を行います。



全体工程



当現場のクレーンを紹介します

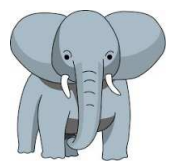


36.5+29.0m

120 t クローラークレーン



鉄骨取付の状況



約4.0～7.0

当現場のクレーンを紹介します。

120tクローラークレーン(KOBELCO 7120)
総重量 : 120t高さ : タワー 36.5m + ジブ 29m

クローラークレーンは無限軌道式履帯(キャタピラ)を持ったクレーンで、軟弱地盤等において優れた機動性を発揮します。用途も建築、土木、港湾荷役と幅広い作業に対応できる万能クレーンです。

新庁舎建設で用いるクレーンは高さ65mまで伸ばす事が可能で、クレーンから37m離れた場所では、7.1tまでの重量を吊り上げる事が出来ます。(例えるとアフリカゾウは4～7tの重さがあります。)また、クレーンに近づけば近いほど、もっと大きな荷物も吊り上げることが出来ます。